

令和4年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 事前質問要望等経過対応報告一覧(西方地域)

No.	自治会	質問要望等	当日の回答要旨	経過・対応報告
1	小倉山下	<p>【産業廃棄物の撤去について】</p> <p>以前、自治会地内にあった、車載用冷蔵庫を製造していた事業所が数年前に撤退しました。その際不用品となった物が野積みになっており、環境の悪化につながっております。また、危険性もあります。つきましては、行政指導により早急に廃棄物の撤去並びに農地等への回復をお願いいたします。</p>	<p>【クリーン推進課:TEL 31-2447】</p> <p>ご指摘の場所については、産業廃棄物の放置を指導する、県小山環境管理事務所に情報提供を行うなど、県と市の連携により対応を進めているところであります。</p> <p>これまでの経過としましては、事業所の閉鎖により関係者が特定できず、責任の所在を確定することが困難な状況になっております。しかしながら、所有地の管理は所有者及びその関係者が適正に行わなければなりませんので、引き続き県と市の連携により、状況の改善に向け対応してまいります。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 【担当課:クリーン推進課:TEL 31-2447】</p>
2	参加者 (居林)	<p>【西方地域のふれあいバス路線の見直し及びアンケート等による住民ニーズの調査について】</p> <p>ふれあいバスの利便性が悪いと何年も話が出ているのに一向に改善されない、また改善の動きもない。住民のニーズを調査してください、アンケート調査をしてはどうかと要望しましたが、その回答もありません。まず、アンケート調査をするのか、しないのか。以前、地域会議委員の方も、東武鉄道との連携がまるでなっていない、電車が発車してしまった後にバスが着くと言っていた。私は町内循環で十分かと思えます。</p> <p>昨年度も、地域会議に市長から意見を求めて、この件について審議してもらおうようお願いをしました。アンケートの形態や内容、趣旨など、そういったものを含めて、市長直轄でやってもらえませんか。市長が諮問すれば地域会議が動く。地域会議に知恵がなければ、宇大の地域デザイン科あたりに相談しながら、西方町にはどのようなバス路線が必要なのか、まずは検討からにしても、地域のニーズを拾い上げなければ改善が進まないのではないですか。</p>	<p>【生活環境部長】</p> <p>昨年のふれあいトークで、ふれあいバスを町内循環としてはどうかという提案をいただきました。昨年度は中心市街地の方に向かって利用している方が多いため、というご回答をさせていただきましたが、確かに、ご提案いただきました、地域の中を循環させるというのも路線の在り方としては十分考えられると思えます。</p> <p>しかしながら、それは現在利用している方々の意見や、いかにして利用者を増やしていくかという視点が重要となります。ご提案をいただいた地域会議での議論につきましては、地域会議でそのような検討が出来るのかということも含め、相談をさせていただきます。</p> <p>【市長】</p> <p>路線によっては、利用率の高い区間と、低い区間があります。寺尾線などは、通勤通学で学生等が栃木駅まで利用されており、以前と比べてバス代が安くなったと喜ばれているところもあります。</p> <p>路線によって走る地域や事情が異なることから、市内全体に路線を巡らせるなかで、どう組み立てていくのかということが、難しい問題と感じております。本日まで頂いたご意見は、もう一度考えさせていただきます。</p>	<p>【担当課:交通防犯課:TEL 21-2153】</p> <p>令和4年12月から令和5年1月にかけて、職員によるふれあいバス添乗調査を実施し、アンケート調査を行い、実際にバスを利用されている方の意見をいただきました。8割以上の利用者の方から利便性が良いとの回答をいただきましたが、利便性が良くないと思われる利用者もいらっしゃいます。</p> <p>多くの方にバスをご利用していただけるように、更なる利便性の向上を目指すため、令和5年3月4日(土)に、西方公民館において、宇都宮大学の公共交通に知見のある先生をコーディネーターとして公共交通ワークショップを開催いたしました。市民の皆様や、日頃、公共交通を利用されている皆様と共に持続可能な公共交通を考える場を設けることにより、多くの皆様に利用され、また、愛される地域公共交通の構築を目指します。</p>
3	参加者 (居林)	<p>【金崎地区の内水氾濫対策、危険性の調査について】</p> <p>2019年の水害の際、金崎地区においても思川で越水の報告がありました。以前のふれあいトークでも、堤防ギリギリまで迫っているという話も出ていました。2019年の水害の時は鹿沼市の粟野地区が越水した関係で金崎地区は堤防決壊を免れたのでないか。</p> <p>栃木土木事務所に相談して、きちんと危険性を確認してくださいと、お願いをしたのですが、その返答もいまだにありません。行政として動いていただいて、結果報告ぐらいはしていただきたい。</p>	<p>【都市建設部長】</p> <p>確かに、昨年度、金崎地区の内水氾濫等についてのお話がありました。このような、市民の方からいただいた貴重なご意見は、県とも連絡会議等を行っており、県の方でも対応したいと考えております。</p> <p>県の方も思川という大きな河川がありますので、その改修等については、様々な検討をしていると思えますが、市としましては、内水氾濫対策について、中小河川も含めて、県と連携をしております。</p> <p>いずれにしましても、皆様のご意見は必ず県の方にお伝えし、市でできることを行いながら、県とも連携し、安全安心なまちづくりを進めてまいりますので、引き続きご意見等をお寄せくださいますようお願いいたします。</p>	<p>【担当課:治水対策室:TEL 21-2785】</p> <p>進捗につきましては、県に確認し、以下のとおり報告いたします。</p> <p>思川の金崎地区(小倉橋から雷電橋間)については、現況の断面でも想定している流量を安全に流下させることのできる断面があることを確認済みです。あわせて、定期的な巡回や点検により護岸や堤防の適切な維持管理にも努めています。</p> <p>市といたしましても、県とも連携し、安全安心なまちづくりを進めてまいります。</p>

No.	自治会	質問要望等	当日の回答要旨	経過・対応報告
4	参加者 (居林)	<p>【内水氾濫を想定したハザードマップの作製について】</p> <p>私たちが住んでいる居林地区も内水氾濫で稲わらが大量に流れ込んできた。どこから流れてきたかという、避難場所となっている西方総合文化体育館周辺の田んぼから。稲わらが流れてくるほど水位が上がったら、実際問題避難できるでしょうか。国や県が災害警報を出した時には遅いのではという心配があります。</p> <p>以前、居林自治会で危機管理課の方に防災講座を開いてもらったが、今のハザードマップには外水氾濫しか反映されていない、内水氾濫をプラスすると水深は上がりますとはっきり言われました。</p> <p>居林地区は50cm、垂直避難、平屋の方だったら隣の家の2階へ避難してもらうといった対応が出来ますが、もっと深くなったら床上浸水が発生します。内水氾濫を想定したハザードマップはいつできるのか。</p>	<p>【危機管理監】</p> <p>ご指摘のとおり、現在のハザードマップでは内水氾濫の想定は考慮されておりません。それが通常の河川の浸水等と合わされば、浸水域が深くなると想定しております。</p>	<p>【担当課：下水道建設課・農林整備課・危機管理課：TEL 21-2551】</p> <p>ハザードマップとは、河川の氾濫や土砂災害などの自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したものです。ハザードマップ作成の基となる、洪水浸水想定区域図は各河川の管理者である国または県が、土砂災害警戒区域図は県が作成しております。市では、これらの区域図を重ね合わせたものを防災ハザードマップとして公表しています。</p> <p>内水氾濫ハザードマップは、降雨時に下水道（雨水）施設、道路側溝や農業用排水路などで排水しきれなくなった雨水があふれ、浸水が予測される内水浸水想定区域を地図化したものです。まずは、各排水施設の内水浸水想定区域図の作成について所管課と検討するとともに、作成したデータの防災ハザードマップへの集約についても、併せて検討してまいります。</p>
5	参加者 (小倉山下)	<p>【ペットボトルの収集方法について、】</p> <p>以前、ホームページの市政メールで、ペットボトルと空き缶については、コンテナでの回収はできないのか、という質問をさせていただいたところ、市の事情があって出来ないと思いますという回答だった。確かに旧栃木市内ではできないかもしれないが、西方地域ならコンテナを置く場所もあるし、環境にも優しく、家庭の負担も減ると思う。</p> <p>鹿沼市はもう何年も前からコンテナで収集車は同じようなものを使っている気がします。鹿沼の状況も確認いただいて、できる方向で考えていただければと思います。</p>	<p>【生活環境部長】</p> <p>市政メールにつきましては、コンテナによる収集になった場合、それ専用の車載設備等が必要になるので、難しいといった回答だったかと思えます。</p> <p>鹿沼市の状況については、把握していなかったもので、どんなやり方をしているのか勉強させていただきたいと思えます。</p> <p>将来的にどういったやり方がいいのか、特にプラスチックなどは、資源を循環させていくうえでどのような収集の仕方が効率的なのか、十分研究していく必要があると思っておりますので、すぐにはできないかもしれませんが、ご提案として頂いたということを念頭に置いて考えていきたいと思えます。</p>	<p>【担当課：クリーン推進課：TEL 31-2447】</p> <p>鹿沼市のコンテナ回収の状況につきましては、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もやごみ以外の種類のごみ ・鹿沼市内全域、約3,000箇所のごみステーションで実施 ・コンテナの設置は、自治会又は使用者 ・飛散防止のネットを用意する必要がない、ごみが見えやすいなどのメリットがある反面、コンテナ設置費用の自己負担、ごみの種類(カン・ビン、ペット等)によってはコンテナ内に整然と並べる手間がかかる、ごみ箱のように不法投棄をされるなどのデメリットもある。 <p>このようなコンテナ回収を導入するに当たっては、ごみの出し方などの管理運用や収集効率についても検討しなければならないことから、今後、本市に適した回収方法について、調査・研究を行ってまいります。</p>
6	参加者 (反町)	<p>【真名子地区メガソーラー事業について、災害対策の把握状況】</p> <p>市政報告の一番目にある治水対策の取り組みについて、真名子地区男丸等で広大なソーラー事業が始まっているが、災害等についての対策をどれくらい行政は把握しているのか。</p> <p>線状降水帯が発生した場合、かなりの降水量になると思う。自宅が赤津川の側にあり、見ていると少しの雨でも赤茶色の水が流れてくる。行政はどの程度把握しているかお聞きしたい。</p>	<p>【副市長】</p> <p>ご質問のメガソーラー事業については、地元の方も市も一番懸念したのは水害の問題でありました。地元の方からは他にも電磁波のこと、獣害被害、景観の問題等が提起されましたが、特に災害対策について地元の方から強く指摘を受け、事業者に対しては、一定の基準を上回る対策をしなければ許可は出せないこととし、最終的には行政として事業許可を出しました。</p> <p>市の役割としては、工事期間から事業期間まで、調整池がきちんと機能するか、土砂崩れの心配がないかなどをしっかりと監視し、指導をしていくことだと思っています。</p> <p>質問のあった治水対策については、現在4箇所の調整池の整備は概ね完成している状況で、少なくとも、平成27年及び令和元年に受けた大雨災害には耐えられる調整池を作成すべきとし、更にそこから60cm嵩上げたものとするよう申し入れをいたしました。そして、きちんと機能させるための浚渫や維持管理についてはしっかりと見守り、厳しく指導していきたいと思えます。</p> <p>また、事業者とは少なくとも月に一度は打ち合わせをしており、進捗状況の確認もしています。完成については、若干遅れていて、来年10月頃とのことですが、その後の維持管理についてもきちんと業者側へ指導していきたいと考えています。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p> <p>【担当課：総合政策課：TEL 21-2303】</p>

No.	自治会	質問要望等	当日の回答要旨	経過・対応報告
7	参加者 (上組東)	<p>【子育て支援及び人口減少への対策について】</p> <p>市長が最初の選挙に出たときに子育て支援を掲げ、給食の無料化と言われたが、議会で反対されダメになったと思うが、今後人口減少も進む中で、栃木市としてはどのような対策を打っていくのでしょうか。</p> <p>明石市のような子育て支援をやったりして、それは他の市からパイを取るということになると思いますが、そういうことをしてでも栃木市の人口を増やして、税収を増やしていくのか。</p> <p>または、観光事業として他のところから来てもらってお金を落としてもらうということを本格的にやっていくのか、どのような対策を本格的に行い、税収を増やすのか知りたい。</p>	<p>【市長】</p> <p>人口減少については喫緊の課題と考えており、栃木市の人口も近年、台風による災害等により転出者が増加し、コロナ禍による出生者の減少もあって、急激に減少しております。一方、近頃は転入者の数が数十人くらい多くなってきており、いかに栃木市に移住してもらうかを考えていかなければなりません。</p> <p>教育にお金がかかる・子育てにお金がかかるというご意見が非常に多いことから、まずは負担軽減をして、安心して子育てをしてもらおうと、給食の無料化について議論してまいりましたが、台風災害やコロナ等の対応があり、議会からも財政的にどうなのかという意見もいただき、小学6年生・中学3年生の無料化を実施することとなりました。</p> <p>また、物価高騰により食材費が急激に上がっておりますが、今後も家庭の負担を増やさない施策をしていきたいと思っております。色々な方策を考えながら、なんとか人口を増やして、減少を緩やかなカーブに持っていきたいと考えておりますが、人口を増やすのは中々難しいと思っております。</p> <p>日本の人口が減少していく状況は避けて通れないので、それに見合った運営をこれからしていかななくてはなりません。現在市では、税収を増やすために、産業団地をいくつか手掛けています。栃木市で生まれ育って、地元で仕事ができる、雇用の場を増やすということも、大きな効果があるのではないかと考えています。</p> <p>西方にスマートインターが出来るなど、大変明るい兆しがありますので、これからもそういった施策に力を入れていきたいと思っております。</p>	【左記回答要旨のとおり】
8	参加者 (居林)	<p>【警察署跡地の活用、観光バス等のためのターミナルについて】</p> <p>先日新聞を読んでいて、警察署跡地に電動自動車と休憩所をという記事があったが、電動バイク云々よりも、もっと観光客を呼ぶために必要なことが何かあるのではないかと。</p> <p>観光バスが止められる待機場所や市内循環バスと連携できるバスターミナルなど、そういった施設を作ってはどうか。栃木市は観光会社やバス会社に優しくないと思う。</p> <p>警察署跡地は観光拠点としては一番良い場所。そこに観光客が降りて、バスの出発時間まで時間があれば休憩所で休んで、休憩所にフードコートでもあれば、栃木の名物も食べていただける。そういう発想はどうかと思っただけで、手をあげさせていただきました。</p>	<p>【産業振興部長】</p> <p>頂きましたご意見についてですが、催しが無い通常時は観光バスが利用できる駐車場等が街なかにはありますが、秋まつりや大きなイベントの際は、観光バスを置く駐車場の確保がされておらず、大きな課題であると思っております。</p> <p>観光都市と謳っている栃木市としては、来ていただく方々に不便をきたさないよう対応を図る必要がありますので、貴重なご意見として受け止め、今後各種イベント実行委員会等において協議検討していきたいと思っております。</p> <p>【都市建設部長】</p> <p>ただ今ご提案をいただきました警察署跡地を含め、栃木地域の街なかにおいて、官民連携の取り組みを進めております。</p> <p>賑わいを取り戻すための取組の一つとして、8月から10月に社会実験を行うこととしまして、お店や休憩施設、あるいはお子さんがちょっと遊べるような施設などを作って、どのような効果があるのかというものを、先ほどお話にありましたシェアサイクルと併せて実験を行っていくことにより、今後の警察署跡地を含めた街中の在り方に反映させていきたいと考えております。</p> <p>シェアサイクルにつきましては、必ずしも観光客の皆さまだけではなく、市民の皆様にも、普段の足として気軽に使っていただければと考えております。車だけではなく、自転車によりちょっとした街中散歩を楽しんでいただければ幸いです。</p>	【左記回答要旨のとおり】 〔担当課：観光振興課：TEL 21-2509 〕 〔担当課：市街地整備課：TEL 21-2309〕